

公共施設の令和6年度CO2排出量の比較(重量ベース 単位：kg)

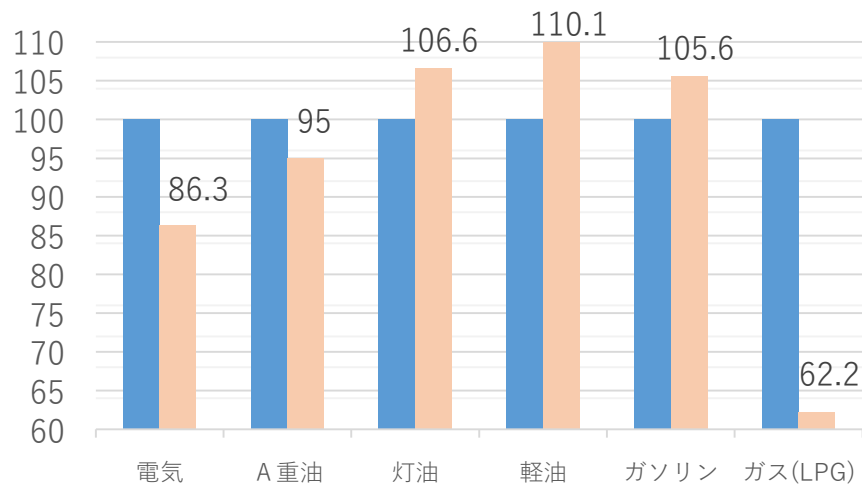
	令和2年度	令和5年度	令和6年度	基準年度比	前年度比
電気	12,960,813	11,295,260	11,179,584	▲13.7%	▲1.0%
A重油	10,295,001	10,214,043	9,776,426	▲5.0%	▲4.3%
灯油	1,494,311	1,519,046	1,592,472	6.6%	4.8%
軽油	378,560	405,609	416,861	10.1%	2.8%
ガソリン	229,560	247,793	242,324	5.6%	▲2.2%
ガス	237,252	146,819	147,592	▲37.8%	0.5%
合計	25,595,497	23,828,570	23,355,260	▲9.0%	▲2.2%

第4次名寄市地球温暖化防止実行計画（事務事業編）での目標

■基準年度 令和2年度：25,595 t ■目標年度 令和8年度：24,551 t

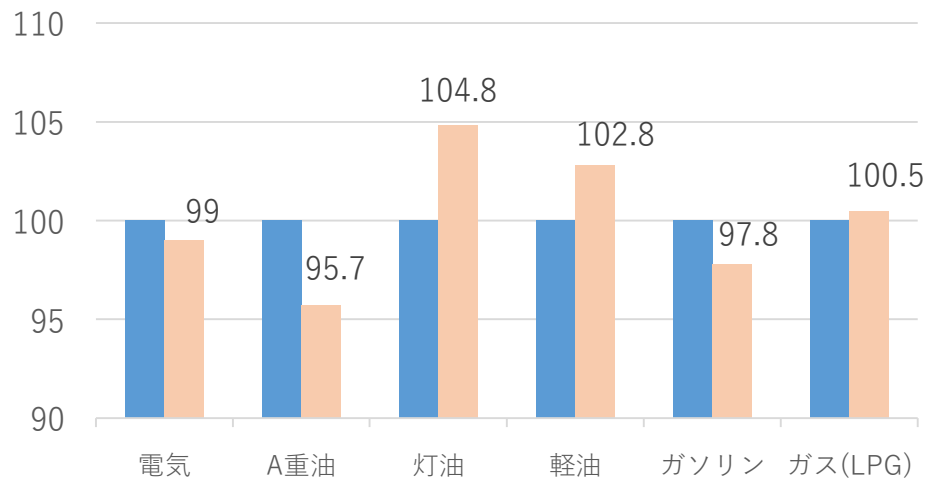
公共施設の令和6年度CO2排出量の比較

基準年度との比較
(令和2年度を100としたとき) 単位：%



■ 令和2年度 ■ 令和6年度

前年度との比較
(令和5年度を100としたとき) 単位：%



■ 令和5年度 ■ 令和6年度

公共施設の令和 6 年度 CO2排出量の比較分析

電気 基準年度比▲13.7% 前年度比▲1.0%

- ・ 令和 3～5 年度の 3 ヶ年で33施設のLEDリース化。
それ以外の施設や街路灯においてもLEDを導入していること
もあり電気使用量減少という結果。
- ・ 令和 6 年度、新たに開園・開校された認定こども園・智恵文
小中学校に太陽光パネルが設置され自家発電ができています。
- ・ 【参考】電気換算係数(t-CO2/kWh)
R5 : 0.000533 → R6 : 0.000535

A重油 基準年度比▲5.0% 前年度比▲4.3%

灯油 基準年度比6.6% 前年度比4.8%

- ・ A重油について、施設全体において前年度より減少している。
- ・ 灯油の増加について、認定こども園が新設されたことが
増加要因のひとつと考えられる。

軽油 基準年度比10.1% 前年度比2.8%
ガソリン 基準年度5.6% 前年度比▲2.2%

- ・ 基準年度である令和 2 年度はコロナ禍により、不要
不急の出張が大幅に減少し、公用車の使用頻度が少
く、基準年度比が増加となっている。
- ・ 執務室が移動（風連庁舎から名寄庁舎へ）したこと
により庁用車での移動距離が減った部署もある。

ガス 基準年度比▲37.8% 前年度比▲0.5%

- ・ 施設全体において年々減少している。
- ・ 前年度と比べ、ほぼ横ばいの排出量。

【参考】燃料使用料金について（市一般会計分）

電気料金

R5 214,655千円 ⇒ R6 222,056千円

3. 3%増

- ・電気量が微増、認定こども園あいあいが稼働したことが要因と考えられる（一般会計）
- ・電気料単価も上がっていた分、金額も増加

暖房料金（灯油、重油、プロパン）

R5 161,268千円 ⇒ R6 167,885千円

3. 9%増

- ・暖房燃料使用量が微増、認定こども園あいあい稼働したことが要因と考えられる（一般会計）
- ・燃料費単価が上がっていた分、金額も増加

車燃料料金（ガソリン、軽油）

R5 18,804千円 ⇒ R6 18,446千円

1. 9%減

- ・庁用車の燃料使用量が大幅減
- ・燃料費単価は上がっていたが、使用量が減った分、金額も減少

水道料金

R5 25,877千円 ⇒ R6 24,561千円

5. 3%減

- ・多くの施設で水道使用量が減少（特に小中学校）
- ・水道料金に変動がなかったことから使用量が減った分、金額も減少